

## [運送会社の経営情報] …………… 人手不足と生産性向上

物流業界の人手不足が益々深刻化してきています。特に最近ではネット通販の普及によりこれらを支える物流の重要性が飛躍的に増大したにも拘らず、ドライバー不足により、遅配等による物流障害が随所に生じています。

一方、ドライバーの数は、下表に見られますように殆ど一定数で推移しています。

2020年にはドライバーの需要総数は92万4000人と想定されていますが、このままでは10万人以上の不足事態が生ずることになります。

＜輸送・機械運転従事者数（交通政策白書）：万人＞

	総数	男	女
平成17年	78	76	2
平成24年	83	81	2
平成25年	84	83	2
平成26年	83	81	2
平成27年	80	78	2



さらに、ドライバーの高齢化も問題になっています。

＜道路貨物運送業就業者の年齢階層別構成比(総務省労働力調査)：％＞

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
平成17年	15.8	28.2	23.2	23.2	9.6
平成24年	9.3	23.6	30.2	21.4	14.8
平成25年	9.6	23.0	30.5	21.4	15.0
平成26年	8.6	21.6	31.9	22.2	15.1
平成27年	8.6	20.5	33.0	22.7	15.1

平成17年には20歳代、30歳代の階層が半数近く占めていましたが、10年後の平成27年では30%弱に減少しています。このような状況を踏まえ、今後については、長時間労働の是正、年間休日の増加、省力化への取り組み等労働条件、労働環境の改善による魅力ある職場づくりが肝要なのは言うまでもありませんが、同時にドライバーの日常業務における生産性の向上は欠かすことはできません。

生産性向上のポイントの1つは、タイムマネジメントの向上にあります。

- ①タイム・ログ（時間経過の記録簿）の活用による無駄な時間の削除
- ②集中する時間（ブロックタイム）の有効活用
- ③業務の優先順位づけ
- ④業務のバッチ化（ついで仕事の活用）

現在、日本で最も影響力のあるピータードラッカーの「時間」に関する言葉です。

「時間をもっとも欠乏している資源であり、それが管理されていないのなら、他に何も管理されることなどできない」